

滋賀県と三重県の暮らしがひろがる新しい道づくり。

事業の目的と必要性

一般国道421号は、三重県桑名市を起点とし、滋賀県近江八幡市を終点とする幹線道路です。

県境に位置する石榑峠道路は、三重県北勢地域と滋賀県東部地域の連携を強化する重要な道路です。

しかし、現在の石榑峠道路は、急峻な鈴鹿山脈を横断し、狭幅員、急勾配及び急カーブが連続するため、大型車の通行規制、異常気象時の通行規制及び

冬期通行止を余儀なくされ、交通機能を満足していない状態です。

石榑峠道路は、交通機能を安定・円滑に確保し、地域の活性化・地域間の交流に大きく寄与するものです。



整備の効果 1

線形不良区間の解消、交通隘路区間の解消

事業前

一般国道421号は、急カーブ、急勾配の連続であり、幅員が狭く、2t車以上の車両は通行止めになっています。



石榑峠道路を
▶ 整備する事によって

事業後

線形改良及び幅員の拡大により、安定した交通が確保できます。

